

## JX日鉱日石エネルギー 入社式における社長メッセージについて

記者各位

本日開催された当社入社式での社長(木村 康)のメッセージを、お知らせいたします。  
 なお、2012年度の新入社員数は以下のとおりです。

		JXエネルギー
大学院・大学卒社員		49 (49)
(内訳)	事務系	17 (20)
	技術系	32 (29)
高専卒社員		8 ( 9)
高校卒社員		116 (57)
	計	173(115)

人数の( )内は昨年度実績

### 【社長メッセージ】

私は、昨年の東日本大震災における経験を通じて、「いかなる場合においても、最終消費者にエネルギーをお届けする」ことの重要性を改めて強く感じました。当社は、石油のみならず、LNG、石炭など、我が国の経済や社会活動に欠かすことのできないエネルギーを、安定的に供給することが使命であることを、肝に銘じて欲しいと思います。

加えて、エネルギーをお客様の使いやすい形に変換して提供すること、つまり、より効率的にエネルギーを変換し、工場や店舗、家庭など、お客様の様々なニーズに合わせたエネルギーの供給提案をすることも、私たちの重要な使命であり、私は当社を「エネルギー変換企業」と呼んでいます。

また、「安定供給」と「エネルギー変換企業」という2つの使命を全うするためには、「つくる」「はこぶ」「うる」という役割を確実に実行することが必要です。製油所からサービスステーションに至るまでの現場における、安全かつ安定的な事業の継続が、何よりも大事であることを忘れてはいけません。

この重要な社会的使命を担う当社の一員となった皆さんが、頭に入れておかねばならないことが3つあります。

1点目は「JXグループは、エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、持続可能な経済・社会の発展に貢献します」とのJXグループ経営理念です。仕事をする上での最上位概念であり、私たちの憲法と言い換えてもいいでしょう。

2点目は当社の基本戦略です。2010年からの中期経営計画は、「統合シナジーの創出」「国内最高の競争力を有する 製造・販売体制構築」「アジア内需取り込みを中心とした 海外事業強化」「新エネルギー・新規事業の育成・推進」という4つの基本戦略をベースとし、昨年より「震災からの復興」を加えた「5本柱」を基本戦略として、これらの「完達」(完全達成)に向けて取り組んでいます。今年度は現行中期経営計画の最終年度であり、私は、今年のキーワードを「完達、そして飛躍」としました。「完達」のための戦力に一日も早くなれるよう、積極的に取り組んでください。

3点目は、「3つの意識(当事者意識、プロ意識、変革意識)」です。社長就任以来、社員に対し、これを常に念頭において、業務に取り組んで貰いたいと話しています。この「3つの意識」を、しっかり頭と胸に叩き込んで、当社の社員としての一歩を踏み出してもらいたいと思います。

人生における実働時間は約40年であり、この間、社会の第一線で働く当事者として、我が国の社会はもちろん、世界の社会に対して責任を持っています。

私は、今から42年前に入社しましたが、中国が、日本を抜き世界第2位の経済大国となったこと、日本の人口が2007年にピークアウトを迎え、あらゆる予測や計画は人口の右肩下がりを中心に考えざるを得なくなったことなど、世の中は、当時は想像もしなかったような変化を遂げています。

皆さんも、社会人の一員として、今後の社会全体の大きな変化に対して、自ら先頭に立ち、積極的に対応をする責任を負っているということを認識し、私とほぼ同じ年齢となる2050年の社会において、どのようなエネルギー供給のあり方が相応しいのか、その中で当社が中心的な役割を果たすにはどうしたらいいのか、ということを中心に考え、行動に移さなければなりません。

「エネルギーのX(エックス)、みらい」は、皆さんが作っていくということであり、それは、「新しい日本のみらい」を作っていくことにもつながると確信しています。

また、今後、益々グローバルに活躍できる人材が求められます。語学の研鑽と併せ、日々の業務においてもグローバルな視点で物事を捉える癖や、物怖じせずに様々な課題に対処できるような度胸も兼ね備えて欲しいと思います。皆さんが1日でも早く当社の戦力となり、国内・海外を問わずに幅広いフィールドで活躍し、飛躍することを大いに期待しています。

以 上